

タイトル「現地を訪問して思うこと」

ツアー参加者氏名：大石育三

卒業年：1967年 卒業学部：経済学部

参加コース：A 福島コース

3.11の東日本大震災後に、宮城県・岩手県の被災地は訪問したことがあるが、今回、初めて福島県を訪問することが出来ました。東京発やまびこ45号で郡山駅にて合流して、一路浪江町に向かいました。震災時に21,434人の浪江町は、約1,000事業所があったが、現在22事業所しか営業していない状況であった。私の職業柄、今回の東北応援ツアーでは、風評被害が出ている福島県の2事業所を報告したい。

① スパリゾートハワイアンズ：常磐興産(株)下山田俊博業務改革室長が3.11の対応と再開までを講演してくれました。震災時に2,500人の来店客がいたが、翌日にバス18台で東京に帰らせることが出来た。また、事業再開までの9月11日まで、広野町民360人の避難先として受け入れて、町民との貴重な体験を通じて絆が

強くなったようだ。地元の企業が感謝の気持ち  
を忘れないことと地域の発展を通じて貢献  
する社風が感じられた。このような会社なら、  
株価 1,500 円も惜しくもなく協力してやりたい  
と思う。

② あかい菜園(株)：船生典文代表取締役が農園  
を案内してくれた。6年前にミニトマトを開  
発して 24,000 株を生産販売しているが、3.11以降  
風評被害で売上が激減していた。震災前の福  
島県の農業産出額は 2,505 億円であったが、平  
成 23 年には 1,851 億円と 26.1% の減少となっ  
ていることから、復興するには、被災地の農産物  
を購入することが大きな励みにつながるこ  
とと思った。今後も、東北応援ツアーに参加し  
て被災地を応援したいと思う。

